



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月14日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6069 URL <http://www.trenders.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 経沢香保子 (戸籍名: 岡本香保子)  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 郭翔愛 (TEL) 03-5774-8871  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト 向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	803	—	197	—	192	—	117	—
24年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年3月期第2四半期	84.62		—					
24年3月期第2四半期	—		—					

(注)

1. 当社は、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成24年3月期第2四半期の実績及び増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は平成25年3月期第2四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第2四半期	953	—	698	—	73.3	
24年3月期	898	—	581	—	64.7	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 698百万円 24年3月期 581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,740	45.5	391	40.5	391	39.9	235	51.4	155.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	1,387,500株	24年3月期	1,387,500株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	一株	24年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	1,387,500株	24年3月期2Q	1,387,500株

（注）当社は、平成24年6月15日付で、普通株式1株につき300株の株式分割を行なっております。期末発行済株式数及び期中平均株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成24年6月15日付で、株式1株につき300株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とした緩やかな回復の動きが見られるものの、欧州での財政不安の長期化及び米国の景気停滞等が懸念され、景気の先行きは依然として不透明感が拭えない状況で推移いたしました。

広告業界においてもメディア市場の継続的構造変化を伴いながら国内広告全体の厳しい市場環境も常態化し、メディア環境の変化に合わせた新たなサービスへの挑戦無くして事業規模の拡大及び収益の確保を図ることは困難になりつつあります。

このような状況のもと、ソーシャルメディアマーケティング事業においては、従来より自会員であるwomediaを通じて、「Webメディア」及び「マスメディア」をワンストップで連動させることで競合他社や大手代理店との差別化を図ってまいりました。

当第2四半期累計期間は、ソーシャルメディアマーケティング事業におきましては、引き続き大手顧客企業を中心とした新規開拓やリピート率の向上といった営業戦略の強化に注力するとともに、新サービスとして4月にはソーシャルプレゼントサイト「Amaze(アメイズ)」サービスを、7月にはスマートフォン向けプロモーションアプリ「キニナルモン」サービスをそれぞれ開始し、新たな収益源の確保を図ってまいりました。

また、メディア事業におきましては、ソーシャルメディアマーケティング事業と親和性が高く、今後伸張が見込まれる市場である美容医療のポータルサイト「キレナビ」の利便性向上及びプロモーションに取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高803,178千円、営業利益197,102千円、経常利益192,066千円、四半期純利益117,407千円となりました。

各セグメントの業績については、次の通りであります。

#### ① ソーシャルメディアマーケティング事業

当セグメントにおきましては、大手顧客企業を中心とした新規開拓やリピート率の向上といった営業戦略の強化に注力するとともに、「Amaze(アメイズ)」「キニナルモン」サービスを開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は788,542千円、セグメント利益(営業利益)は353,035千円となりました。

#### ② メディア事業

当セグメントにおきましては、「キレナビ」がオープン1周年を迎え、引き続きサイトの利便性向上を図るとともに、サイトの認知度を高めるためのプロモーションに取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は14,636千円、セグメント損失(営業損失)は19,300千円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は953,420千円となり、前事業年度末に比べ54,440千円増加しました。主な要因としましては、売掛金の増加60,437千円であります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は254,699千円となり、前事業年度末に比べ62,966千円減少しました。主な要因としましては、未払法人税等の減少36,250千円及び1年内返済予定の長期借入金の減少13,005千円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は698,720千円となり、前事業年度末に比べ117,407千円増加しました。要因としましては、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加117,407千円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年10月19日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

1 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	495,464	497,815
売掛金	262,952	323,389
仕掛品	12,364	9,918
貯蔵品	691	1,282
その他	16,646	10,538
貸倒引当金	△1,401	△1,602
流動資産合計	786,717	841,340
固定資産		
有形固定資産	30,305	28,980
無形固定資産	28,392	31,922
投資その他の資産	53,564	51,177
固定資産合計	112,261	112,079
資産合計	898,979	953,420
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	62,236	58,651
1年内返済予定の長期借入金	13,005	—
未払費用	47,895	48,691
未払法人税等	108,955	72,704
未払消費税等	17,822	13,085
預り金	9,188	15,622
ポイント引当金	2,105	517
その他	39,991	29,862
流動負債合計	301,200	239,134
固定負債		
資産除去債務	16,465	15,565
固定負債合計	16,465	15,565
負債合計	317,666	254,699
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	196,000	196,000
資本剰余金	175,000	175,000
利益剰余金	210,313	327,720
株主資本合計	581,313	698,720
純資産合計	581,313	698,720
負債純資産合計	898,979	953,420

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	803,178
売上原価	342,869
売上総利益	460,308
販売費及び一般管理費	263,206
営業利益	197,102
営業外収益	
ポイント引当金戻入益	1,587
その他	122
営業外収益合計	1,710
営業外費用	
支払利息	599
上場関連費用	6,145
営業外費用合計	6,745
経常利益	192,066
税引前四半期純利益	192,066
法人税、住民税及び事業税	70,536
法人税等調整額	4,122
法人税等合計	74,659
四半期純利益	117,407



## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	192,066
減価償却費	5,225
のれん償却額	1,952
貸倒引当金の増減額(△は減少)	201
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,587
受取利息	0
支払利息	599
上場関連費用	6,145
売上債権の増減額(△は増加)	△60,437
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,446
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,585
未払金の増減額(△は減少)	△13,798
未払費用の増減額(△は減少)	795
預り金の増減額(△は減少)	6,434
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,737
その他	235
小計	131,956
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△599
法人税等の支払額	△106,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,689
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,252
無形固定資産の取得による支出	△7,034
資産除去債務の履行による支出	△1,096
敷金の回収による収入	1,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,333
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△13,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,005
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,351
現金及び現金同等物の期首残高	495,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	497,815

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ソーシャルメディアマーケティング事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	788,542	14,636	803,178	—	803,178
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	788,542	14,636	803,178	—	803,178
セグメント利益又は損失(△)	353,035	△19,300	333,734	△136,632	197,102

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△136,632千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(公募による新株の発行)

当社は、平成24年10月19日に株式会社東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。当社は上場にあたり平成24年9月14日及び平成24年9月28日開催の取締役会において、次のとおり募集新株式の発行を決議し、平成24年10月18日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は512,710千円、発行済株式総数は1,657,500株となっております。

(1) 募集方法

一般募集(ブックビルディング方式による募集)

(2) 発行する株式の種類及び数

普通株式 270,000株

(3) 発行価格

1株につき2,550円

一般募集はこの価格にて行いました。

(4) 引受価額

1株につき2,346円

この価額は、当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

(5) 資本組入額

1株につき1,173円

(6) 発行価格の総額

688,500千円

(7) 引受価額の総額

633,420千円

(8) 資本組入額の総額

316,710千円

(9) 払込期日

平成24年10月18日

(10) 資金の使途

既存事業の拡大にかかる人材関連費、広告宣伝費等の運転資金及び社内基幹システム等の拡充開発の設備資金に充当する予定であります。